

年度	2015年度	開講部局	生物生産学部		
講義コード	L6021001	科目区分	専門教育科目		
授業科目名	< 1 T > 中山間地域・島しょ部連携特別講座				
授業科目名 (フリガナ)	チュウサンカンチイキ・トウショブレンケイトクベツコウザ				
英文授業科目名	Special lecture for collaboration with mountainous and island areas				
担当教員名	細野 賢治,天野 通子,山尾 政博				
担当教員名 (フリガナ)	ホソノ ケンジ,アmano ミチコ,ヤマオ マサヒロ				
研究室の場所	細野B215、天野B210、山尾B214	内線番号	細野7959、天野、山尾7962		
E-mailアドレス	kjhosono, amano-michiko, yamao				
開講キャンパス	東広島	開設期	1年次生 前期		
曜日時限	水 9 時限, 1 0 時限	講義室	生C201		
授業の方法	講義	授業の方法 【詳細情報】	講義中心、プレゼンテーション、板書多用		
単位	1	週時間	2	使用言語	J：日本語
対象学生	生物生産学部1年生				
学修の段階	2：初級レベル				
学問分野(分野)	14：農学				
学問分野(分科)	05：社会経済農学				
授業のキーワード	中山間地域、島しょ部、農山村、域学連携、6次産業化、農商工連携、地方行政				
教職専門科目		教科専門科目			
プログラムの中での この授業科目の 位置づけ	広島大学が取り組む地（知）の拠点事業のうち、中山間地域島しょ部対策の一環として、生物生産学部5つのプログラム全ての問題発見能力の向上に役立てる。				
到達度評価の評価項目					
授業の目標・概要等	<p>「地の拠点」の本旨に沿って、広島県内の農山漁村地域で実際に地域おこしや農業振興に携わっている人物からその取組実態を学ぶことによって、即戦力となる人材の育成に寄与する。</p> <p>3つのキーワード（地方行政、6次産業化、農商工連携）において、地域で活躍している人物を招聘し、オムニバス方式の講義を行う。</p>				
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション（授業計画の提示、授業の心得）</p> <p>第2回 地方行政1（広島県の中山間地域振興の担当者）</p> <p>第3回 地方行政2（広島県内の市町で地域振興の担当者）</p> <p>第4回 6次産業化1（商品開発）</p> <p>第5回 6次産業化2（農山村プロモーション）</p> <p>第6回 6次産業化3（畜産業の6次産業化）</p> <p>第7回 農商工連携1（企業の農山村への貢献）</p> <p>第8回 農商工連携2（地域産品の開発）</p> <p>授業時間には、必ずメモを作成し、整理したものを次回の授業で提出してもらいます。 定期試験は行いませんが、期末のレポートで成績評価を行います。</p>				
教科書・参考書等	<p>参考図書：小田切徳美『農山村は消滅しない』、岩波書店、2014年。</p> <p>藤谷則夫監修『地域おこし最前線HIROSHIMA』、ひろぎん経済研究所、2013年。</p>				
授業で使用する メディア・機器等	当日配布資料、パワーポイント				
予習・復習への アドバイス	<p>予習は、次回講演予定の外部講師が所属する組織等のウェブサイトを予め見ておいて下さい。</p> <p>復習は、毎回、授業で記入したメモを整理して、次回の授業で提出してもらいます。</p>				
履修上の注意 受講条件等	条件不利地域連携インターンシップの受講を希望する学生は、本講義を必ず履修して下さい。				
成績評価の基準等	毎回の提出物、期末のレポートおよび授業での発言状況等により総合評価します。				
メッセージ					

その他	
<p>学期末に授業評価アンケートを実施します。回答に協力してください。 回答に対しては教員からコメントを入力し、改善につなげていきます。 なお、受講者が著しく少ない場合などに、アンケートを実施しない場合があります。</p>	